

学年	コース	教科	科目	類型	必・選	単位数
1	進学一貫	技術・家庭	技術・家庭	全	必修	2

講座のねらい

<技術分野>ものづくりなど実践的・体験的な学習活動を通して、材料と加工、エネルギー変換、生物育成及び情報に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深め、技術を適切に評価し活用する態度と能力を身につけてもらいます。

<家庭分野>衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てます。

使用教材及び問題集

教科書 : 新しい技術・家庭 「技術分野 未来をつくるテクノロジー」 (東京書籍)
 : 新しい技術・家庭 「家庭分野 自立と共生を目指して」 (東京書籍)
 副教材 : 技術・家庭ノート 「技術分野」 (新学社)
 : 技術・家庭ノート 「家庭分野」 (新学社)

授業の内容と進め方

授業では、講義と実習を組合せて進めます。教科書に従って授業を進めますが、それらを発展的に進めるために学習ノート・プリントを活用します。

講義はHR教室で、技術の実習は技術室、家庭の実習は家庭科室にて行います。

講座の到達目標

<技術分野>

1. 材料と加工や情報、生物飼育に関する技術を身につけます。

<家庭分野>

1. 成長期である中学生の心身の健康や成長に食生活が重要な役割を果たしていることを理解し、食生活の自立・自律を目指して食事の管理や調理できる力を身に付けます。

2. 各自の衣服について、快適な着方を工夫し、自ら手入れや簡単な補修ができることを目指します。

3. 住まいの働きを知り、安全で快適な住まいを工夫、改善できることを目指します。

評価の観点・テスト・課題など

定期考査と製作品で総合的に評価します。

また、授業態度・出席状況・ノートやプリント提出、作品製作や調理実習への意欲や積極性という点も評価します。

備考

○用具の準備

木工実習・・・定規、三角定規、コンパス

調理実習・・・エプロン、三角巾、マスク

作品製作・・・裁縫セット

授業の計画

<p>1 学期 学習計画および学習内容</p> <p>○家庭分野のガイダンス</p> <p>1 編 わたしたちの食生活</p> <p>1 章 食生活と栄養</p> <p>1. 食事の役割</p> <p>2. 栄養素の種類と働き</p> <p>3. 中学生に必要な栄養素</p> <p>2 章 食品の選択</p> <p>1. 食品に含まれる栄養素</p> <p>2. 6つの食品群</p> <p>3. 食品群別摂取量の目安</p> <p>[調理実習]</p> <p>[作品製作]</p> <p>1. 製作の基礎技能（ミシンの使い方）</p> <p>2. しぼり染め</p> <p>3. まゆ玉からから糸を取り出す</p>
<p>2 学期 学習計画および学習内容</p> <p>○技術分野のガイダンス</p> <p>1 編 材料と加工</p> <p>1. 材料（木材）の特徴と利用方法</p> <p>2. 木材を使った製作品の設計・製図</p> <p>3. 木材を使った製作品の部品加工と組立て及び仕上げ</p> <p>4. 材料（木材）に適した加工方法と工具や機器の安全使用</p> <p>5. 材料と加工に関する技術の適切な評価・活用</p> <p>3 編 生物飼育</p> <p>1. 生物（植物）の育成に適する条件と育成環境を管理する方法</p> <p>2. 目的とする生物（植物）の育成計画</p> <p>3. 生物の育成（栽培）の準備及び育成（栽培）</p> <p>4 編 情報</p> <p>1. コンピュータの利用</p> <p>2. インターネットの利用</p> <p>3. コンピュータソフトを利用した発表</p>
<p>3 学期 学習計画および学習内容</p> <p>2 編 わたしたちの衣生活と住生活</p> <p>1 章 衣生活と自立</p> <p>1. 目的に応じた着用</p> <p>2. 既製服の選択と購入</p> <p>3. 衣服の手入れ</p> <p>2 章 住生活と自立</p> <p>1. 住まいの役割</p> <p>2. 日本の住まい</p> <p>3. 快適な住まい</p> <p>[作品製作]</p>